SunRise Cliff ～ 新年を待つ ～

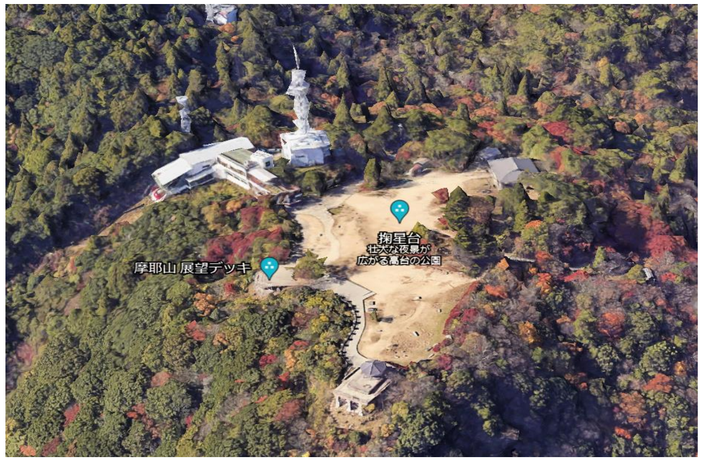
初めに

今回の計画地である摩耶山掬星台は日本三大夜景の一つに数えられ、六甲山の人気の観光スポットとなっている。夜景だけでなく、日中も多くの人々でにぎわっている。

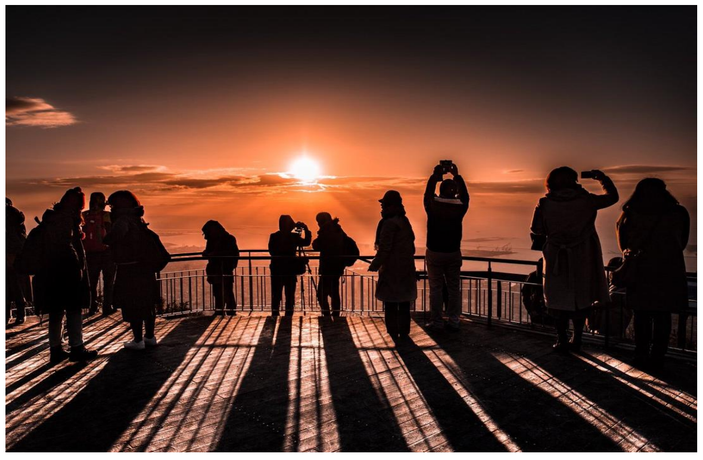
一方、現在は小さな野外展望台が二ヵ所あるだけで、日の出や夕日、夜景を鑑賞するには十分な状態とは言えない。とりわけ、トイレなどは身障者も含めて早急な対応が必要と思われる。

また、寒い時期や雨天などは厳しい状況といえる。
毎年初日の出を鑑賞するために深夜から訪れる人々にとってはつらい待ち時間といえる。

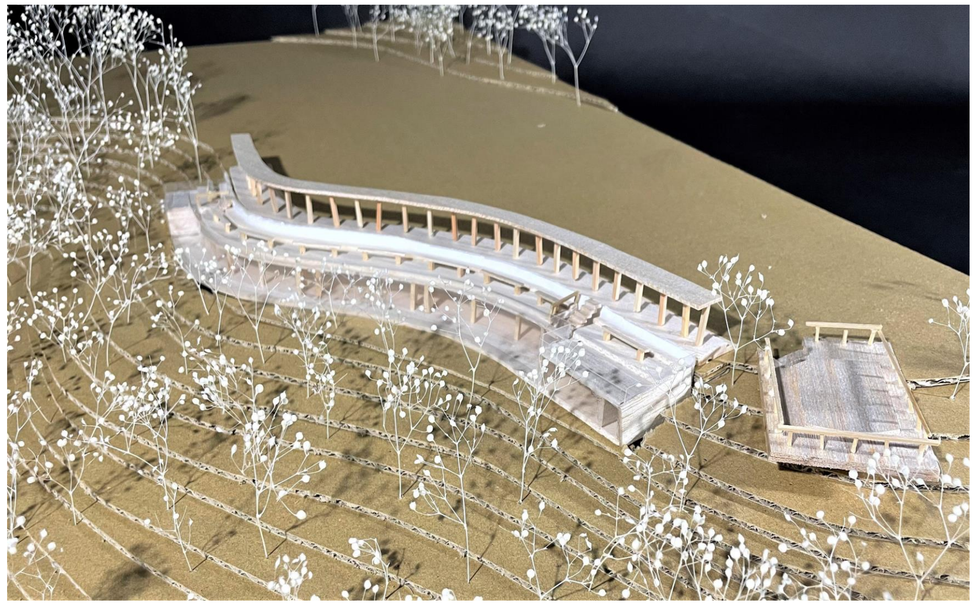
これらを解消するために、宿泊施設を伴った快適な鑑賞空間施設を計画した。



摩耶山掬星台から大阪湾や和歌山方面を眺める



展望台から見える朝日

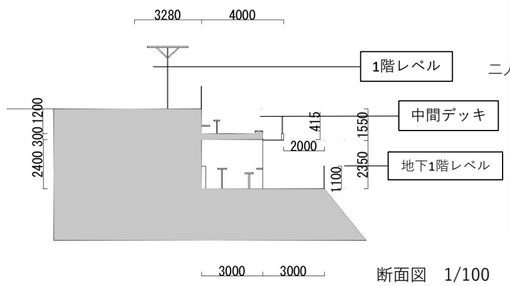


計画のポイント

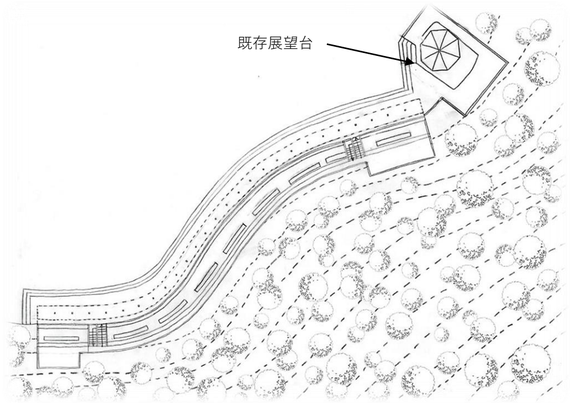
1.この建物は自然を有効活用し、山の形に沿って計画した。
2.様々なレベルより、日の出を観賞できる様に、三段のデッキを計画した。
3.ロープウェイ駅と同じレベルの展望デッキを造り、大勢での歓迎が可能
4.１階レベルより1.2m低いデッキにすることで、一階からの眺望を阻害しないように配慮。木製椅子に座って日の出を待つ。
5.両サイドの宿泊スペース・中央のパーティーフロアなど、室内空間として快適に朝日を待つことができる。
6.日の出まで仮眠できるように、半個室として2段ベッドのルームを壁際に設けた。

その他の利用ポイント

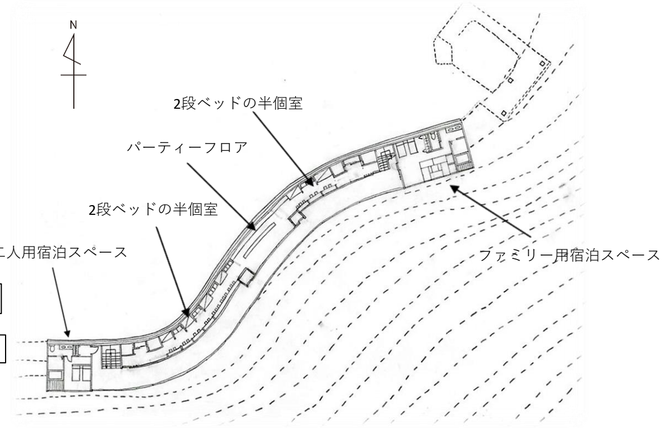
1. 30～50人のパーティー会場として、夜景を楽しめる観光施設
2. 夜だけでなく昼間の展望施設としてハイカー達も利用する（トイレや自販機の設置）
3. 小学生などの為に樹木や野鳥の観察施設として利用
4. 六甲の自然や歴史を学べるライブラリーを設置し、ボランティア活動の拠点とする
5. 山岳遭難の補助施設として無線や非常食などを常備する



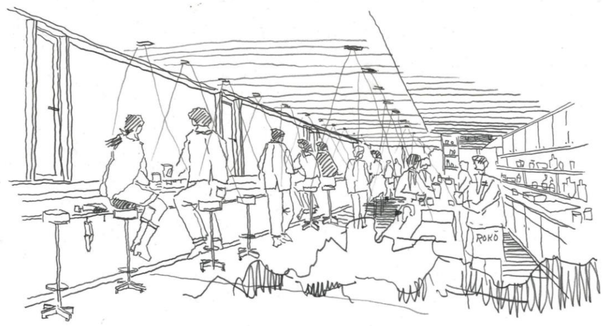
断面図 1/100



一階平面図 1/２００



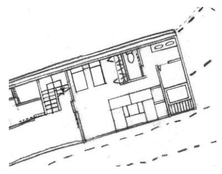
地下一階平面図１/２００



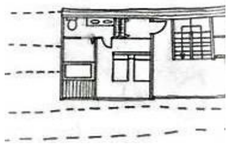
地下1階　パーティーフロアの様子

地下１階　半個室とビューカウンター

地下1階　宿泊施設（ファミリー用）の様子



ファミリー用宿泊スペース



二人用宿泊スペース

宿泊スペースには景色を一望できる様に、
浴室をガラス張りとした。

ファミリー用宿泊スペースには、畳コーナーを設け、
家族の全員がゆっくり休めるスペースとした。

１階レベルの展望台から浴室が見えないよう計画した。

地下1階　宿泊施設